

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 23 年 1 月 6 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	エコフレンドリーリゾートホテルにおける 高効率熱源導入による排出削減事業
承認番号	JCDM-PJ0042
排出削減事業者名	株式会社ホテルマネジメントジャパン
排出削減共同実施事業者名	株式会社山武 ヤシマエ工業株式会社
事業実施場所	ホテル日航アリビラ ヲヨミタンリゾート沖縄ー (沖縄県中頭郡読谷村字儀間 600)
事業の概要	吸収式冷温水発生器 2 台による空調熱源のうち 1 台を廃止し、もう 1 台を暖房専用に変更、さらに高効率インバーターボ冷凍機 1 台を追加することでエネルギー効率を改善しエネルギー消費量を削減し、CO ₂ 排出量を削減する。
排出削減量の計画	1,500tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 6,000tCO ₂)
国内クレジット認証期間	事業開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004 空調設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,152tCO ₂ (2009年4月9日～2010年3月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、吸収式冷温水器 2 台のうち 1 台を高効率インバーターボ冷凍機へ更新していることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における電力使用量の確認や現地訪問時の視認により確認している。 3) 排出削減事業計画書においては開始予定日が 2009 年 4 月 1 日であったが、設備完工のずれ込みにより、開始日が 2009 年 4 月 9 日へ変更となったことを質問および証拠書類の閲覧により確認した。排出削減量の算定は、変更後の開始日を基に適正に計算されている。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、BEMS による計測記録の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画書通り、モニタリングが実施されていることを確認している。 2) 活動量の正確性については、現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、BEMS による計測記録の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業

	<p>計画書通り、エネルギー使用量の記録・保管が適切になされており、正確に集計されていることを確認している。</p> <p>3) 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、最新の排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画書通りであることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2009 年 4 月 9 日～2010 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 305k1 であることを確認した。